

授業改善推進中期プラン 国語〔小学校第6学年〕

昭島市立田中小学校

学年等		項 目	内 容
令和5年度 第4学年	令和5年10月	学習に関する児童の実態・課題	○登場人物の気持ちに共感したり、説明文の例について身の回りのものを当てはめたりすることができるようになってきた。 ▲自分の考えを根拠をもって説明することができる児童が少ない。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	根拠をもって自分の考えを説明する力
		具体的な授業改善の方策	既習事項を確認する時間や文章を音読する機会を増やすことで内容理解を深めていく。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○自分の考えが書けたら、ペアや少人数のグループで伝え合う時間を設けることで、すすんで説明する児童が増えた。 ▲どの場面や文章を根拠にして説明をしているのか、自信をもてないでいる児童が多い。キーワードを確認したり、短い文章で練習したりして、自信を付けさせていく。
令和6年度 第5学年	令和6年10月	学習に関する児童の実態・課題	○集めた情報を、構成に気を付けて文章にまとめたり、意欲的に調べたりすることができる。 ▲登場人物の心情や筆者の考えなど、叙述を基にして、自分の考えをもつことが不十分である。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	根拠に基づき、自分の考えを表現する力
		具体的な授業改善の方策	根拠となる叙述や考えを明確にさせ、考えを書く時間を多くとる。また、友達の考えを共有する機会を多く設ける。
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○叙述を基に、文章を読み取ったり、文章から自分の考えをもったりすることができるようになった。 ▲語彙が少なく、表現力が低い。
令和7年度 第6学年	令和7年10月	学習に関する児童の実態・課題	○漢字の学習に意欲的に取り組み、学習した漢字も少しずつ定着してきている。調べた情報を、型にはめながら文章にまとめることができる。 ▲文章を読んで、叙述をもとに自分なりの意見をもつことに課題がある。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	叙述を根拠に自分の考えをもつ力。
		具体的な授業改善の方策	自分の考えをもつ際に、根拠となる叙述を明確にする。
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	○自分の考えや意見を文章にして書き表す力が向上した。 ▲文章を読むことに苦手意識が強い児童が多く、読解力も低い。漢字の定着が困難な児童もあり、文章を書く際に適切に使うことができない。

授業改善推進中期プラン 算数〔小学校第6学年〕

昭島市立田中小学校

学年等		項 目	内 容
令和5年度 第4学年	令和5年10月	学習に関する児童の実態・課題	○四則計算の技能が身に付いてきている。 ▲単位の変換や大きい数や小数点以下の数の扱いが苦手な児童が多い。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	4桁ごとに新たな単位を取り入れる力
		具体的な授業改善の方策	マス目のノートに位取り表を書いたり、補助線で位が変わる所の目印にしたりすることで意識を高める。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○面積の学習で、 m^2 からaや m^2 から cm^2 に単位変換する練習をすることで、学習評価テストで8割の児童が、85点以上を取ることができた。 ▲計算のミスが目立つので算数の授業だけでなく、練習を繰り返し実施することで身に付けさせていく。
令和6年度 第5学年	令和6年10月	学習に関する児童の実態・課題	○四則計算の技能が身に付いている児童が多い。 ▲文章題の立式が正確にできない児童が多い
		教科で身に付けさせたい資質・能力	数直線を描いたり、題意を読み取ったりして立式する力
		具体的な授業改善の方策	文章問題を解く際に、数直線に表す機会を意図的に設定する。
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○四角形と三角形の面積では、4年生で学習したこと復習したり、四角形と三角形の公式を徹底したりしたことで、学習評価テストではおおむねの生徒が高得点をとることができた。 ▲単位の付け忘れや、文章の問題を正確に読み取ることができない児童がいたため、授業で何度も確認することや、大事なところには線を引かせるなど意識させていく。
令和7年度 第6学年	令和7年10月	学習に関する児童の実態・課題	○数直線などを自分で書いたり、理解したりして問題を解くことができるようになってきた。 ▲面積や体積の公式がうまく使えない児童が多い。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	公式の意味を理解したうえで、問題を解くことができる力。
		具体的な授業改善の方策	面積・体積を求める練習問題を重点的に行い、取り組む際に、立てた式の意味を確認しながら進めるようにする。
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	○四則計算は身に付いている児童が多い。面積や体積の公式を使って問題を解けるようになってきた。 ▲自力解決が難しい児童も多く、学習内容が定着しない。